

米国大統領選挙は11月5日に投票が行われます。前回に続き接戦となることが予想されています。当レポートでは、1.接戦が予想される米国大統領選挙、2.両候補の経済政策の違い、を簡潔に整理させていただきます。

1. 接戦が予想される米国大統領選挙

- 10月13日時点の全米の世論調査による支持率は、ハリス候補が49.1%、トランプ候補が47.4%とハリス候補が1.7ポイントリードしていますが、2020年の選挙同様に今回も接戦が見込まれています。
- 両候補はともに220名近くの選挙人を獲得していると思われませんが、過半数となる270名以上の選挙人を獲得し勝利するには、北東部のペンシルベニア州、南東部のジョージア州、ノースカロライナ州、中西部のミシガン州、ウイスコンシン州などの投票でどちらの候補が選挙人を多く獲得できるかが勝敗の分かれ目になっています。

米国大統領選挙の選挙人の獲得予想

民主党：ハリス候補	接戦が予想される州				共和党：トランプ候補
カリフォルニア 54	ジョージア 16	ペンシルベニア 19		テキサス 40	
ニューヨーク 28	ノースカロライナ 16	ミシガン 15		フロリダ 30	
ワシントン 12	アリゾナ 11	ウイスコンシン 10		オハイオ 17	
など	ネバダ 6	その他 11		など	
選挙人数 215人	選挙人数(残り) 104人				選挙人数 219人

※ 選挙人数は2024年10月13日時点の推定値

2. 両候補の政策の違い

- 移民政策、中絶の権利、ウクライナ支援などが選挙の争点として目立っていますが、経済政策などにも違いがあります。ハリス候補は、環境規制強化、中低所得層への減税、大企業への法人税引き上げなどを掲げています。一方で、トランプ候補は、大幅な関税引き上げ、個人所得税・法人税等の減税などを掲げています
- そのため、エネルギー、素材、医療、金融および製造業などには、どちらの候補が勝利するかによって事業環境に変化が生じることが考えられます。

両候補者の政策の違いによる主な産業への影響予測

産業	民主党：ハリス候補	共和党：トランプ候補
エネルギー	環境問題に積極的で、再生可能エネルギーへの投資を推進	化石燃料産業に対し支援策を通じ、石油・ガス生産を増加させる可能性
素材	環境規制強化により、化学物質の排出基準などの環境基準の厳格化によるコスト増加の懸念	環境規制緩和が進む可能性があり、鉱業や化学工業にプラス要因
医療関連	オバマケアを通じた医療保険の拡充や医薬品価格の規制強化（製薬メーカーにとってマイナス要因）	医療保険の規制緩和（製薬メーカーにとってプラス要因）
金融	金融規制・監督の強化、リスク管理の強化	金融規制の緩和により金融機関の活動を支援

出所：リアル・クリア・ポリティクスおよび各種情報をもとに明治安田アセットマネジメント作成

＜ご留意事項＞ ●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、法令に基づく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日時点の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更されることがあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。